

Annual Report

April 2025
▶▶▶ March 2026

1



NPT準備委員会

核不拡散条約（NPT）再検討会議第3回準備委員会（ニューヨーク）に参加し、現地から毎日、中継番組を行いました（2025年4月29日～5月3日）。NGO、専門家、政府関係者らが参加しました。事前にはメディア向けブリーフィングを行いました。

2



1周年記念イベント

2025年6月1日、キャンペーン発足1周年記念イベントを東京の聖心女子大学で開催しました。オンラインを含め約150人が参加しました。政策提言の発表、超世代トーク、核兵器をなくすダイアログ、エイサーや太鼓の演奏など、熱気ある会になりました。

3



核兵器禁止条約マニフェスト&フォーラム

「日本がアジアで核軍縮を主導し、核兵器禁止条約に参加するための提言」を発表しました（2025年6月1日）。核の非人道性の発信、アジア諸国との軍縮外交を提言しています。8月7日には専門家を交えた核兵器禁止条約フォーラムを長崎で開催しました。

4



国会議員との討論会&勉強会

2025年8月5日、核軍縮への日本の役割をテーマに、広島で国会議員討論会を開きました。また「核軍縮推進 超党派議員勉強会」（2025年11月発足）を支援しています。2025年7月の参院選、2026年2月の衆院選では全国の候補者に働きかけました。

5



被爆80年

核戦争防止国際医師会議in長崎（10月）、戦後・被爆80年イベントin東京（10月）、パグウォッシュ会議in広島（11月）に参加したほか、8月8日には長崎で若者交流イベントを開きました。広島県の人材育成事業も受託しました。写真はノーベル平和委員長来日時（7月）。

6



平和・核廃絶キャリアフェス

国連「核兵器廃絶国際デー」を記念して、2025年9月27日、明治学院大学でキャリアフェスを開きました（共催：国連広報センター）。国連、外務省、学術、メディア、ビジネス、NGOの各分野で「平和・核廃絶を仕事にする」をテーマに交流しました。

7



Hibakusha Dialogue

被爆者とユースが対話し「核なき世界」について語り合うイベントを、各地の大学、生協、市民グループと協力して行ってきました（2025年7・8・10月東京、8月埼玉、8月ロンドン、10月山形、10月兵庫、2026年2月奈良など）。

8



講演・出演・メディアブリーフィング

講演・出演多数（写真は浅野英男コーディネーター）のほか、時宜に応じたメディアブリーフィングを行いました。米国のイラン攻撃（2025年6月）、日米拡大抑止（7月）、米国の核実験再開発言（10月）、原潜保有問題（12月）、新START失効（2026年2月）など。

9



被爆者とともに

「日本は核兵器禁止条約に参加を！」日本被団協の呼びかけに応じて、東京の国会前と全国でのアクションをつなぎました（2025年11月21日）。非核三原則の堅持を求め、政権幹部の「核保有」発言に対しては強く抗議しました（12月23日）。

10



国家安保戦略への提言

政府が2026年内の「安保3文書」改定の方針を発表したことを受け、学術アドバイザーの協力をえて政策提言「核兵器をなくす——それが日本の安全保障」をまとめました（2026年3月5日）。各政党代表と面会し、政府に送付しました。

11

核なき世界を
日本から！

メルマガの発行

月に2回、メールマガジンを配信しています（2026年3月現在、約2,500通）。Instagramなど各種SNSでも情報発信しています。これらは、ボランティア主体の週1回の広報ミーティングで計画、編集、発信しています。

12



ボランティア・インターン

毎月オンラインでボランティア会合をしています。ボランティア主体の映画上映会を実施しました（2025年3月1日）。ユースや学生インターンも活発に活動中。「議員を動かせ！全国ミーティング」も毎月開いています。

核兵器をなくす
JAPAN CAMPAIGN TO ABOLISH NUCLEAR WEAPONS
日本キャンペーン

info@nuclearabolitionjpn.com

nuclearabolitionjpn.com



Instagram

X (Twitter)

Facebook

Bluesky

YouTube